

2. 総合型選抜

(2) 経済学部 国際経済学科

【趣旨】

国際経済学科は、国際経済を理解する基本・応用学習の他、世界を広く網羅する地域言語・地域研究等を含むカリキュラムを通じて、グローバル化時代に対応できる人材を国内外に送り出してきました。今後益々変貌する国際情勢に対して、海外事情の的確な理解や分析で活躍する人材、国際的な起業やグローバルな視野に基づいた活動に挑戦できる人材の育成を強化することをめざしています。

本入学試験は、「グローバル人材入試」としてグローバルな人材育成で鍵となる潜在的な語学力および発想力・探求力を持つ人材を選抜します。出願は3方式に分かれており、志願者の資質に最も合う方式を選ぶことができます。

第1の「英語資格型」は、一定の英語の語学力水準を満たした志願者向けのもので、海外での学習機会に積極的に参加する人材を求めます。志願には、英語をはじめ外国語を学ぶ潜在能力を持っていることを示すため、一定の英語能力検定の資格が必要であり、また、日本や国際社会に関する課題を論じる小論文を提出して頂きます。

第2の「発想力型」は、独創的な発想を持ち情報収集や考察を通してそれを他者に伝えられる人材を求めます。発想力は、グローバル化時代の新たな諸課題に対応する上で鍵となります。国際社会や地域社会が抱える問題・課題に対して、自らの体験および学習の双方にもとづいて発想した提案や解決策を説明し、それはどのようにしたら実現できるのか、あるいは、どのようにしたら実現へと接近できるのかを小論文で提示することが求められます。

第3の「探求力型」は、地道に自分の関心を深く追求する探求力がある人材を求めます。国際社会が直面する諸問題や日本が抱える諸課題等の中から、個別のテーマを取り上げ深く掘り下げられる資質が求められます。そのため、課題図書を読みこなし、関連した設問に対して自分なりの考えをまとめた小論文を提出していただけます。

選抜にあたっては、高大接続改革における学力の3要素である、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、を総合的に評価します。

■実施学部・学科 経済学部・国際経済学科

■募集人員 「英語資格型」「発想力型」「探求力型」計20名

■出願資格

- 高等学校または中等教育学校を令和8年4月以降に卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
- 外国において、学校教育における12年の課程を令和8年4月1日以降に修了した者および令和9年3月31日までに修了見込みの者
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和9年3月31日までに修了見込みの者
- 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）を令和9年3月31日までに修了見込みの者
- 本学における個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、日本の高等学校に相当する課程を令和9年3月31日までに卒業見込みのもの(18歳に達した者に限る)

■出願条件

- 専修大学経済学部国際経済学科での勉学を強く希望し、入学を志す者
- 「英語資格型」にて出願を希望する者のみ、下表の資格を取得した者

実用英語技能検定(英検®) (英検S-CBT®、 英検S-Interview®含む)	1級、準1級、2級のいずれかを受験し、 以下のいずれかの条件に該当している者(合否は問わない) 「CSEスコア2.0が2150点以上」 または 「CSEスコア2.0が1980点以上2150点未満かつ、 出身高等学校の英語の学習成績の状況が4.2以上*」
TOEFL iBT®	従来スコア42以上(2026年1月20日以前の実験者) または バンドスコア3.0以上(2026年1月21日以降の実験者) ◎「My Best™ Scores」は使用できません。
TOEIC® L&R	550点以上
IELTS™ (Academic)	4.0以上
ケンブリッジ英語検定	140以上
GTEC	GTECスコア(オフィシャルスコアに限る)が930点以上

* 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ)最終学年1学期、2学期制であれば最終学年前期、4学期制であれば最終学年2学期までの学習成績の状況。
なお、2学期制において、最終学年前期までのものの提出が不可能な場合は、前期中間までのもの、それが不可能な場合は、第2学年までのものとし、4学期制において、最終学年2学期までのものの提出が不可能な場合は、最終学年1学期までのものとします。

- 選考方法 第1次選考(書類審査・小論文)
第2次選考(面接)
- 出願期間 【WEB出願登録期間】
令和8年9月1日(火)～9月11日(金)
【出願書類提出期間(郵送)】
令和8年9月7日(月)～9月11日(金)消印有効
- 試験日 第2次選考 令和8年10月17日(土)
- 合格発表日 第1次 令和8年10月9日(金)
第2次 令和8年11月2日(月)

■備考

本入学試験の趣旨や応募に関する注意事項などを含めた説明会を令和8年8月1日(土)・2日(日)に生田キャンパスで、令和8年7月12日(日)、8月22日(土)・23日(日)に神田キャンパスで開催します。英語外部試験の証明書の提出方法などの詳細は、入学試験要項で確認してください。

第1次選考では、調査書・志望理由書・小論文の審査を行います。詳細は入学試験要項で確認してください。

第2次選考は第1次選考合格者に対してのみ行います。

令和8年度結果

学部	学科	志願者数	第1次選考(書類審査)		第2次選考(面接)		倍率
			受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	
経済学部	国際経済学科	90	90	41	39	27	3.3

(3) 国際コミュニケーション学部 異文化コミュニケーション学科

【趣旨】

専修大学国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科では、知識の量だけでなく、主体性を持って問題に取り組み、自ら答えを見つけ出し、新たな価値を作り出すことができる人を育てていきたいと考えています。

そこで、言語文化に対する興味と関心や学修意欲を有しており、学部教育を受けるために必要となる基礎的な学力として、高等学校の主要科目における教科書レベルの知識を有している人を募集します。

本入学試験では、本学科の4年間の学修を活かし、社会で広く活躍するための問題解決能力を発揮する人間となるために、学力の3要素とされる(1)知識・技能(2)思考力・判断力・表現力(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価します。

これまで培ってきた自分の力を、本学科での4年間の勉学によってさらに伸ばしたいと考えているみなさんに、積極的にこの専修大学国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科の本入学試験にチャレンジして欲しいと、教員一同、願っています。

■実施学部・学科 国際コミュニケーション学部・異文化コミュニケーション学科

■募集人員 12名

■出願資格

- 令和9年3月全日制の高等学校もしくは全日制の中等教育学校を卒業見込みの者および令和8年3月に卒業した者(外国の高等学校に留学のため、令和7年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含む。)
- 外国において、学校教育における12年以上の課程を修了後1年以内の者および令和9年3月31日までに修了見込みの者
- 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を令和9年3月31日までに修了見込みの者および令和8年3月に修了した者
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和9年3月31日までに修了見込みの者および令和8年3月に修了した者
- 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)を令和9年3月31日までに修了見込みの者および令和8年3月に修了した者

■出願条件

- 専修大学国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科での勉学を強く希望し、入学を志す者
- 本学科への志願理由および入学後の学修における目標と計画が明確であること
- 他大学・他学部との併願を認めますが、本入学試験制度で合格した場合は、本学部に入学することを前提とします。

- 選考方法 第1次選考(書類審査・課題小論文)
第2次選考(講義受講・小論文・面接)

【選考におけるポイント】

国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科における4年間の学修は、広く日本と世界の社会に目を向けることから始まります。第1次選考で提出していただくエントリーシートでは、高等学校までの勉学を活かし、本学科の学修で何を学びたいかを明確にし、それにつながる自分の力や経験、意欲を示してください。

また、課題図書を読んだうえでの設問への解答は、そうした学修にふさわしい問題設定力と、解決に向け自らの考えを的確に伝え基礎的な力を有しているかを判定するためのものです。著者の伝えようとしていることをしっかりと捉え理解する力と、そこから自分の意見を構築する力を問いたいと考えています。

第2次選考で実際に講義を受けていただき、その上で小論文と面接に臨んでもらうのは、実際のコミュニケーションの場で相手の考えを捉え、自分の意見を相手に正しく伝える力を、できるだけ現実に近い環境で発揮してもらうためのものです。ここでは、自分の考えを自分の言葉で書き、そして話すことができる力を判定の基準とします。

なお、面接では場合によって受験生が得意とする外国語の応答が入ることもあります。

- 出願期間 【WEB出願登録期間】
令和8年9月1日(火)～9月11日(金)
【出願書類提出期間(郵送)】
令和8年9月7日(月)～9月11日(金)消印有効
- 試験日 第2次選考 令和8年10月10日(土)
- 合格発表日 第1次 令和8年10月2日(金)
第2次 令和8年11月2日(月)

■備考

本入学試験の趣旨や応募に関する注意事項などを含めた説明会を令和8年7月12日(日)、8月22日(土)・23日(日)に神田キャンパスで、令和8年8月1日(土)・2日(日)に生田キャンパスで開催します。

第1次選考では、エントリーシートと課題小論文による審査を行います。詳細は入学試験要項で確認してください。第2次選考は、第1次選考合格者に対してのみ行います。

令和8年度結果

学部	学科	志願者数	第1次選考(書類審査)		第2次選考(講義・小論文・面接)		倍率
			受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	
国際コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	70	70	36	36	9	7.8